

ご寄付・寄贈をいただいた方

(敬称省略・順不同)

小松洋子 濱崎貴廣 鈴木泰子 鈴木英章 渡部良治
椎根保則 吉田香苗 深谷豊子 佐藤毅



新しく会員になられた方

正会員

小松洋子 後藤恵子 石井辰一 小林由幸 小泉則子 入谷良子 深谷豊子

賛助会員

(株)朝日ラバー 久保木生大 中野目正治 浅野一成

2005.1.15 発行

こころネット通信 第6号

発行者：NPO 法人こころネットワーク県南 〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村泉崎字下根岸 9

生活支援センター「こころん」 : 0248-54-1115 FAX: 0248-53-3063

Email: kokoron@r2.dion.ne.jp

活動報告

- 10月 3日 オープンハウスまつり参加
- 10月 8日 蔵王すずしろ視察見学
- 10月15日 第2回家族教室
- 10月19日 ばんだいの集い参加
- 10月19日 県南地方職親連絡会総会
- 10月21日 中小企業同友会障害者部門 全国大会参加
- 10月22日 こころん音楽の夕べ (吉田徳明コンサート)
- 10月26日 白河地区障害者就労連絡会
- 10月28日 医療相談(石下先生)
- 10月30日 メンバーミーティング
- 11月 2日 芋煮バーベキュー
- 11月 6日 泉崎村文化祭参加及び見学
- 11月 7日 泉崎村福祉健康祭り参加
- 11月20日 第1回こころんまつり
- 11月24日 第4回家族教室
- 11月30日 料理教室 (大久保栄養士：塙町)
- 12月11日 マイタウンふれあいまつり
- 12月15日 第5回家族教室
- 12月16日 医療相談
- 12月19日 泉崎村クリスマス点灯式
- 12月20日 クリスマスケーキ作り 白河地区障害者就労連絡会
- 12月22日 クリスマス交流会
- 12月27日 大掃除(休所 12/31~1/2)

❖今後の予定❖

- 1月15日 理事会
- 1月19日 県指導監査
- 1月24日 こころん事業実行委員会
- 1月18日 料理教室 (高橋栄養士：大信村)
- 1月25日 料理教室(鈴木節雄)
- 2月 5日 開所1周年記念講演会 (講師：清水義晴氏)
- 2月 8日 料理教室 (長岐栄養士：矢吹町)
- 2月11日 白河だるま市参加
- 2月24日 医療相談



料理教室

毎週火曜日

健康教室

- ・バレーボール毎週水曜日 PM
- ・卓球 月の第2・4木曜 AM
- ・ヨガ 1月から当分休止
- 芸術教室(絵画) 月の第1・3木曜 PM

今年もみんなでいろんなことにチャレンジしていきます

編集後記

穏やかで希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

現在、私たちを取り巻く環境は、障害保健福祉の総合化 障害福祉サービス法(仮称)の成立に向けて大きく揺れ動いています。昨年秋に国(厚生労働省障害保健福祉部)から示された「今後の障害保健福祉施策の方向(改革のグランドデザイン案)」に説明されているとおり、近い将来に現行の身体・知的・精神の障害別保健福祉が一本化されるということになります。この流れが、国の示すように真に保健福祉を必要とする方のために、利用者視点でのよりよい法整備・体制づくり・施策に反映されるよう切望します。

今年は、締め切りに追われ続けてしまいましたが、自分のペースを覚知し、より計画的な内容充実した広報づくりを目指したいと思います。

(三村)



ごあいさつ

NPO法人こころネットワーク県南

理事長 関元行

新年あけまして、おめでとうございます。

旧年中の幾多の惨事には心がいたみます。

こころん開設以来、まもなく満1年を迎えようとしています。精神障がい者の生活支援の場としてのはたらきは、利用者数の増加率からみても明らかに、機能をはたしているかと推察されます。



平日の午後、ふらりと「こころん」を訪れてみました。利用されている方たちとしばらくの間歓談しました。支援センターの存在意義がひしひしと押し寄せて、ある感慨に見舞われたことです。

これからは、なごみの家共同作業所の運営も兼ね、共に手を携えていくことになっています。次年度は、初年度に増して円滑な運営を心がけなくてはなりません。会員の皆様様の更なる御理解、御協力という後押しなくして叶わぬことです。

当法人の主旨が、より一層浸透し、より多くの会員を擁し、より充実した活動が可能となるよう、役員及び職員一同、切磋琢磨していく所存です。

何卒、よろしく御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年度福島県地域づくりサポート事業助成として「こころんまつり」と「クリスマス交流会」を実施しました

こころんまつり

「僕たち障害者は自分たちだけで生きていくことはできません。まつりを通して、わたしたちのことや病気のことを知り、偏見の緩和や理解に協力してください。」という利用者の言葉で始まった「第1回こころんまつり」は、好天に恵まれ、バザー、模擬店、お茶会、絵画展、各作業所等の展示販売、各施設パネル紹介、青空野菜市場、健康相談、アトラクションなど盛り沢山の内容で実施しました。



関会本橋打出

利用者の声

- 自分は駐車場係りを担当したのでまつりがあまり見れなく残念だった。
- 駐車場係りは大変だった。路上駐車で苦情を言われ嫌だった。(H)
- 沢山の人に来て緊張したが楽しかった。(K)
- お店が忙しくて対応にかなり疲れた！
- 天候に恵まれて良かった。楽しかった。



バザー会場



村長さんのソバ打ち

泉崎村小林村長のソバ打ちやバンブーオーケストラの演奏などもあり、地域から大勢の皆様方に(参加総数301名)ご参加いただき、地域との交流や連携の大切を肌で感じる事ができました。



作業所自主製品販売



バンブーオーケストラ演奏

会場全体のレイアウト、開催時期、駐車場、バザー・模擬店の価格設定、ボランティアの活用などが次回の課題として残りましたが、総体的には、大成功で終わることができた「第1回こころんまつり」でした。



クリスマス交流会



12月21日、こころん地域交流室で利用者・ボランティア・役職員の約50名が参加してクリスマス交流会が実施されました。

当日は、矢吹町出身でプロ歌手のデビューコンサートを終えたばかりの「つよし」さんも参加され、キャンドルサービス・歌・ゲームなどで楽しみました。会の中でサンタさんの飛び入りや漫才コンビの綾小路公麻呂ならぬ「宮の小路君麻呂」の登場で会場を爆笑の渦に巻き込み、全員で和やかなひとときを過ごしました。

冬月

2005年 1月



私は、幼い頃から月が好きでした。

なぜか、月を見ていると、心が「しーん」と落ち着くのです。

具体的に、私が何歳頃に月が好きになったかというところまでは思い出せませんが、かなり幼い時期から好きになったのです。好きになったきっかけは、先ほど書いた感覚を味わったせいでしょう。

私はこの感覚を定期的に味わいたくなります。のどが渇いたときに水を渴望するように、私はあの感覚を、月を見ることを渴望するのです。

つい先日、気分転換に夜の散歩をしたときにも、立ち止まって、私は空を見渡し、月を眺めました。そのときの体験を書かせていただきます。

冬の澄み切った空気で、小さな星が空全体に輝いていました。その空の一角に、下弦の月がありました。月の細部までじっくり見ているうちに、何も考えなくなる、以前と同じあの感覚がやってきました。

私の意識は月を認識しているだけで、自我が消え失せたようです。

地面に目を向けると、月の明かりが、純白の雪の表面に、美しい黄色を注いでいました。私は、その美しさに新鮮さを感じました。このとき、この季節独特の美しい風景に初めて気づきました。

私の今までの人生の中で、雪面の色彩の変化に美しさを感じたことはおそろくなかったと思います。

同じ風景を眺めていても、その風景のどこを意識して眺めるかで、

その美しさも変化するのだと思いました。これは新たな気づきでした。(J)

ボランティアの募集

こころんでは、ボランティアの方を募集しています。

料理教室での講師ボランティア活動

料理教室では、火曜日の10時～14時 定期的に 単発的にボランティアとして講師をしていただける方を募集しています。活動を通して「こころ」に栄養補給をしてみませんか？

趣味などを活かしたボランティア活動

あなたの得意とする特技や趣味を活かしながら、利用者と一緒に活動してみませんか？

イベントボランティア

地域交流、月度行事、コンサートなどへの応援隊

ボランティアに興味のある方へ

支援ボランティアフォローアップ講座

日時：平成17年2月20日(日) 13:30～

場所：NPO法人ひびきの会 地域生活支援センターひびき

電話：024-522-6886

問い合わせは、「こころん」
又は下記の「ひびき」まで

こころん音楽の夕べ



10月22日、こころん音楽の夕べと題し「吉田徳明コンサート(アンデスフォルクローレの調べ)」を開催しました。

当日は、会場として泉崎村中央公民館体育館をお借り、駐車場の心配もなく大勢の方にご参加いただきました。時節的に会場内は少し寒さが感じられましたが、普段接する機会が少ない生の南米音楽チャランゴの音色と吉田さんの熱唱に、参加者はしばし時の過ぎるのも忘れ、

”Mi Gatito”(私のネコちゃん)という歌では

会場の掛け声も一つとなって盛り上がり、全員がこころ一つとなり熱い感動を得ることができました。



蔵王すずしろ視察研修

10月8日、小規模作業所「なごみ」・「ウッドピアはなわ」と「生活支援センターこころん」の利用者・職員の総数34名で、宮城県蔵王町にある知的障害者授産施設



「蔵王すずしろ」を訪問しました。「蔵王すずしろ」は、とうふを作りで全国的に有名な施設です。



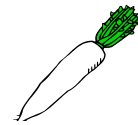
社会福祉法人はらから福祉会 知的障害者授産施設(通所)「蔵王すずしろ」

蔵王すずしろは、知的障害者授産施設8ヶ所、小規模授産施設1ヶ所、知的障害者グループホーム5ヶ所、精神障がい者グループホーム1ヶ所を運営する

「(社福)はらから福祉会」に所属し、とうふ・パン・ドーナツなどを作っています。とうふづくり20人・パン作り18人・ドーナツ2人が各担当していて、メンバーの平均月収は5万円で、月収7万円を目標に皆で夢の実現に向かって汗を流しています。

参加者の中から、“ここで働く人たちはスゴイ、自分たちもあのように生き生きとした表情で働ける仕事に就きたい”という声が多く聞かれ、充実した研修の一日でした。

ちなみに施設名の「すずしろ」とは、現地の方言で大根のことだそうです。



年末に爽やかな汗を流しました

年末の27日、こころんの大掃除後にみんなで泉崎村内鳥峠下の道路のゴミ拾いボランティアを行いました。車で走行中にはあまり気づきませんが、思いのほか道路脇に落ちている空き缶やゴミは多いものです。約1時間の短い時間でしたが、年の瀬に爽やかで清々しい汗を流すことができ、みんなの顔もキラキラ輝いていました。地道で些細な活動ですが、“地域のために今後も定期的に続けていこうね”とみんなで誓い合いました。



支援センターこころん利用状況

(平成16年12月31日現在)

利用登録者 50名 (♥男性33名 ♥女性17名)

センター利用者

10月	11月	12月	計
248人	504人	276人	1,028人

見学等来訪者

10月	11月	12月	計
51人	125人	31人	207人

相談件数

区分	電話	面接	訪問	同行・その他	計
10月	37	39	12	7	95
11月	23	42	6	6	77
12月	29	36	11	7	83

Qちゃんコーナー

今日は、仕事の相談や探し方について教えてね!



Qちゃん

A(アンサー)おじさんは最近お疲れ気味なの...今日はボク「こころん君」が説明するね!



一般的には、ハローワーク(公共職業安定所)で求人票から自分にあった仕事を捜し、ハローワークを通じて紹介してもらい、事業所説明や面接を経て就労となります。

ハローワークには、障がい者の相談コーナーと担当者が置かれています。

精神障がいの方に対して、次のような支援事業があります。

職業準備支援事業(ワークトレーニングコース・自立支援コース)

ジョブコーチ支援事業(就労に不安がある方にマンツーマンでの職業支援体制)

職業講習(パソコンなど就労のための基本技能を約1ヶ月程度学ぶ)

また、ハローワークへの求人登録者には、障がい者トライアル雇用事業があります。

■南障害者就業サポートセンター(0248-42-2012)や

■福島県障害者職業センター(024-522-2230)などでも相談を受けています。

こころんでも就労の相談や支援を希望者の視点で行っています!!

生活支援センターこころん就労支援(わくわくセンター)0248(54)1115

まず、こころんの担当者にご相談(電話・訪問)ください。

!当者の面談があり、就労希望(職種・時間・賃金等)と就労準備(健康・日常生活等)についてお聞きします。

・仕事先が見つかるまで少しお待ちいただきます。なお、自分でも積極的に仕事をお捜しください。ご希望する仕事先が見つかりましたら、一緒に事前準備や職場訪問等を行います。

・就労中にジョブコーチ的な経過の支援をします。

*こころんでは、職親等各制度や資源を活用し、就労希望者の思いや気持ちを大切に、必要な支援と一緒にいきます。就労、アルバイト、パートなど働くことについて、何でもお気軽にご相談ください。

次回は、就労のための準備などについて話をすよ